

止まり木



令和7年（2025年）

6月9日発行

第11号

大阪市立野田中学校

It's so good !

6月4日(水)より3年生修学旅行を2泊3日で実施しました。

☆78期生 修学旅行での目標☆は以下の通りです。

「**自主**」取り組みに対して積極的に参加し、自分たちで声をかけ合う。

「**自立**」自分の行動や発言に、より自覚を持つ。

「**自治**」自分たちで決めたルールを全員で守り、みんなが楽しい修学旅行にする。



初日、心配していた天候も味方につけ、晴天の中で出発をしました。バスの中では、レク係が用意してくれたクイズなどを楽しみながら元気いっぱいとにかくノリノリの様子でした。1日目は、民泊。グリーンパーク吉峰に着くと、すでに民家の方々が待っておられ、歓迎をしてくれました。入村式のあと、それぞれのご家庭に出発していきましたが、少し不安そうな子どももいれば、もう何日も一緒にすごしているかのように接している子どもたちも多く、コミュニケーション能力の高さに驚きました。その後は、一緒に料理をしたり、星を見に行ったり、ポニーと触れ合ったり、バギーに乗ったり等々、大阪ではなかなか体験できない貴重な時間を過ごすことができました。

翌日、帰ってきたときには皆がいい表情をしており、民家の方との別れを惜しんでいました。これを縁に将来、旅行などで再会できるといいですね。退村式のあとは、全員で記念写真を撮影しました。

2日目の昼からは、黒部川でのラフティングです。「集合から更衣、バス出発までの時間が、今まで来た学校の中で一番早く、予定時間内でできていた。」とインストラクターからお褒めの言葉をいただきました。また、バス内で説明を聞いている時も無駄話することもなく、真剣にお話を聞いていたこと、インストラクターの問い合わせに上手に反応していたことなど、ちょっとしたことかもしれませんのが、大変うれしく思いました。始まるときの寒さに水が冷たいことに驚きつつも、スタート直後から子どもたちは満面の笑顔で大自然の中、ちょうどよいスリルと爽快感を楽しんでいたと思います。ラフティング終了後は、2泊目のホテル「宝生閣」に向かいました。入館式の後、夕食。そして入浴と、あわただしく時間が流れていく中で、やるべきことをやっていたのではと思います。そして、いよいよお待ちかねの夜レク。実行委員の人たちが時間をかけ、知恵を絞って作り上げた出し物が次から次へと出てきました。最初のグループは歌に合わせて振付をしていました。誰一人恥ずかしがらず、全力で歌い、踊っている様子は本気で頑張るカッコよさを示してくれました。このムードが、後の出し物にも大きな影響を与え、次に続くグループもやりやすくなり、力を発揮できたのではないでしょうか。さらに小道具のクオリティも素晴らしいです。そういう意味では、この先陣を切ってくれたグループの貢献度は高かったと校長先生は思います。2番手は「IPPONグランプリ」。番組さながらの大喜利対決。名回答、珍回答ありで会場は爆笑の渦に。10点が入ると”IPPON”と画像が流れるシーンや「写真で一言」の写真がランダムに流れしていく様子も実際に見事にパソコンを駆使して再現していました。続いて、女子4名によるダンスでした。見ている人たちもノリノリにさせてくれるハイレベルなダンスを披露してくれました。サプライズで最後には、先生も一緒にダンス。さらに盛り上がりをしました。そして、先生方の秘密に迫るクイズ大会。○○先生のプロポーズの言葉も知ることができました。(笑)

最後は創作劇でタイトルは『竹取物語(改)』。こういう劇も今までたくさん見ましたが、恥ずかしがって何を言っているのかわからないことが多い、見ているほうが恥ずかしくなることが多かったです。しかししかし、野田の3年生は一味違いました。やっぱり、堂々と全力でやっている。見ていて気持ちよかったです。

このように出演している人たちはもちろん、全力で頑張っているのですが、何よりも見ている人たちの参加態度が素晴らしいと思います。ふざけることなく、バカにすることなく、**真剣に参加し、応援している姿**に3年生の持つ**本当の強さ**を感じました。3日目の高山散策も班行動をしながら、お土産を買ったり、おいしいものを食べたりと満喫していました。ハプニングもありましたが、たくさんの思い出ができたのではないでしょうか。

出発式でお話しした、「無事に行って帰ってくる」「正しく考え、正しく行動し、正しく楽しむ」。そんな修学旅に多くの人ができたのではないでしょうか。レクの時に応援する人たちが口にした言葉が耳に残っています。それは

It's so good ! この経験を**今後の学校生活に活かすことができた時、修学旅行は成功**に終わります。